



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リニカル
 コード番号 2183 URL <https://www.linical.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 秦野 和浩
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高橋 明宏 TEL 06-6150-2582
 四半期報告書提出予定日 2022年8月15日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|---|------|-------|----------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年3月期第1四半期 | 2,868 | 3.0 | △26 | — | 89 | △36.0 | 76 | 13.8 |
| 2022年3月期第1四半期 | 2,784 | 14.9 | 145 | — | 140 | — | 67 | — |

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 451百万円 (427.6%) 2022年3月期第1四半期 85百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 3.41 | — |
| 2022年3月期第1四半期 | 3.00 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年3月期第1四半期 | 16,328 | 6,678 | 40.9 | 295.68 |
| 2022年3月期 | 15,716 | 6,543 | 41.6 | 289.69 |

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 6,678百万円 2022年3月期 6,543百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期 | — | 0.00 | — | 14.00 | 14.00 |
| 2023年3月期 | — | — | — | — | — |
| 2023年3月期（予想） | — | 0.00 | — | 14.00 | 14.00 |

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|------|-------|-----|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 通期 | 12,440 | 7.7 | 1,224 | 12.7 | 1,204 | 1.7 | 871 | 10.2 | 38.56 |

（注）当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しておりません。

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年3月期1Q | 24,740,000株 | 2022年3月期 | 24,740,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年3月期1Q | 2,153,564株 | 2022年3月期 | 2,153,564株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2023年3月期1Q | 22,586,436株 | 2022年3月期1Q | 22,586,436株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記資料には、本資料発表日現在の将来に関する見通し、計画に基づく予想が含まれています。当該予想と実績の間には、今後様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 4 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 7 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第1四半期連結累計期間 | 8 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (会計方針の変更) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の経営成績は、日本が前年同期比で増収となったことや為替が円安に推移したこと等により売上高は2,868百万円（前年同期比3.0%増）となりました。利益面では、日本が増収となったことに加え、昨年度から継続しているリーマンな事業運営により好調なスタートとなりました。しかし、米国、欧州、韓国で、第2四半期以降予定される10以上の新規案件の開始及び工数追加に対応するための増員に加え、米欧での大型の国際共同試験が依頼者による治験計画の見直しにより開始が遅れたことにより要員稼働率が一時的に低下したこと等から、営業赤字となりました。この結果、グループ全体では26百万円の営業損失（前年同期は145百万円の営業利益）となりました。なお、前述の試験は7月から開始しており、また、第2四半期以降予定される複数の新規案件の開始及び工数追加により、今後、要員稼働率の改善が見込まれます。一方、経常利益は、外貨預金等により為替差益124百万円等が発生したため89百万円（前年同期比36.0%減）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、保険金を受け取ったことから76百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

次に、各地域の状況は下記のとおりです。

日本・アジア地域においては、日本は、前期の営業活動の成果や人件費の抑制等により、情報セキュリティ強化のための費用増加等を吸収し、前年同期比で増収、大幅な営業黒字となりました。

韓国では、既存案件で進捗が遅れたこと等から想定した売上高を確保できず、また、新規案件に対応するための増員による人件費増加もあり、前年同期比で減収、営業赤字となりました。

中国では、ゼロ・コロナ政策によるロックダウンの影響から一部の受注案件で進捗が遅れたことから現地通貨ベースでは前年同期比で僅かに減収、営業減益となりましたが、円安の影響により、円貨ベースでは増収、営業増益となりました。

台湾では、既存の一部受注案件でコロナの影響から治験の進捗が遅れたこと等から前年同期比で減収となったものの、費用節減を進めた結果、営業赤字は大きく減少しました。

米国においては、上記の大型案件の開始の遅れ等により想定した売上高を確保できず前年同期比で減収となりました。また、これに伴う一時的な要員稼働率の低下に加え、第2四半期以降予定される新規案件の開始及び工数追加に対応するための増員による人件費の増加を吸収できず営業赤字となりました。なお、上記案件は既に試験が開始しており、また、第2四半期以降予定される新規案件の開始及び工数追加により、今後、売上高への貢献と要員稼働率の改善が見込まれます。また、米国のバイオテック企業から複数案件の打診を受けており、これらの案件獲得に向け交渉を継続しております。引き続き米国CRO市場の深耕に注力し、持続的な成長を図ってまいります。

欧州においては、前期の好調な受注獲得を受け、前年同四半期比で大幅な増収となりました。しかし、上記の大型案件の開始の遅れや一部既存案件の進捗の遅れ等から要員稼働率が低下したことに加え、第2四半期以降予定される新規案件の開始及び工数追加に対応するための増員による人件費の増加を吸収できず僅かに営業赤字となりました。なお、上記案件は既に試験が開始しており、また、第2四半期以降予定される新規案件の開始及び工数追加により、今後、売上高への貢献と要員稼働率の改善が見込まれます。また、欧州の製薬会社やバイオテック企業から複数案件の打診を受けており、これらの案件獲得に向け交渉を継続しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①CRO事業

当社グループのCRO事業につきましては、売上高は2,621百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は376百万円（同33.4%減）と増収減益となりました。

②育薬事業

当社グループの育薬事業につきましては、売上高は247百万円（前年同期比28.6%増）、営業利益は78百万円（同94.2%増）と増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ611百万円（3.9%）増加し、16,328百万円となりました。これは、主に立替金が増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ476百万円（5.2%）増加し、9,649百万円となりました。これは、主に預り金が増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ135百万円（2.1%）増加し、6,678百万円となりました。これは、主に剰余金の配当により利益剰余金が減少したものの、円安により為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① 概要

当第1四半期連結累計期間において、当社の経営戦略の現状と見通しについて重要な変更はありません。引き続き、当社グループは受託業務の選択と集中を推し進め、既存のCROとの差別化を図ってまいります。

2023年3月期通期の業績予想につきましては、本年5月16日に発表いたしました内容に変更はありません。

② 受注残高の推移

当社グループのCRO事業において受託する治験業務では、1年から3年程度の治験実施期間において、症例数や対象疾患に起因する治験の難易度などにより受託総額が決定します。この実施期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い売上が発生します。育薬事業においても、同程度の期間についてクライアントと委受託契約を締結し、契約に従い売上が発生します。

受注残高は、既に契約を締結済みの受託業務の受注金額の残高であります。これは、今後1年から5年程度の期間で発生する売上高を示しており、当社グループの今後の業績予想の根拠となる指標であります。

表. 受注残高の推移

（単位：百万円）

| | 2022年 3月期末 (A) | 2023年3月期 | | 増減率% (B-A)/A |
|------|----------------------|----------|----------------------|-----------------|
| | | 第1四半期末 | 2022年8月 12日時点 (B) | |
| 受注残高 | 22,514 | 23,052 | 22,346 | △0.7 |
| 内訳 | 中外製薬 | 3,786 | 3,378 | △13.9 |
| | エーザイ | 2,795 | 2,023 | △27.6 |
| | その他 | 15,932 | 17,062 | 7.1 |

各地域の受注状況につきましては、以下のとおりです。

日本・アジア地域においては、複数の新規案件や期間延長等の契約変更により当期及び来期以降の売上に貢献する受注を獲得しております。また、上記の受注残高には含まれておりませんが、受注内諾を受け契約締結作業中の複数の新規案件があります。その他にも複数の新規案件の打診を受けており、受注残高の積み上げに向け、営業活動を活発化しております。

米国においては、良好な取引関係にある米国バイオテックから受注した案件で契約変更による受注残高の増加等がありました。また、受注内諾を受け、契約締結作業中で上記受注残高には含まれない複数の新規案件があります。さらに大型のグローバル案件等の打診を受けており、受注残高の積み上げに向け、営業活動を活発化しております。

欧州地域においては、治験計画の見直しによる契約変更により来期以降の売上となる予定であった受注残高の減少などもありましたが、複数の新規案件や期間延長等の契約変更により当期及び来期以降の売上に貢献する受注を獲得しております。また、複数の新規案件の打診を受けており、受注の積み上げに向け、営業活動を継続しております。

以上の受注環境のもと、2022年8月12日時点の受注残高は223億円となり、引き続き220億円を超える水準となっております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 5,985,618 | 6,031,863 |
| 売掛金及び契約資産 | 2,917,990 | 2,962,095 |
| 前払費用 | 197,784 | 184,307 |
| 立替金 | 987,891 | 1,169,614 |
| その他 | 266,645 | 312,888 |
| 貸倒引当金 | △34,842 | △11,911 |
| 流動資産合計 | 10,321,087 | 10,648,857 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 664,111 | 698,727 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 3,406,633 | 3,673,348 |
| その他 | 159,249 | 158,462 |
| 無形固定資産合計 | 3,565,883 | 3,831,810 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 347,652 | 329,313 |
| 長期前払費用 | 5,461 | 2,722 |
| 差入保証金 | 366,280 | 368,122 |
| 繰延税金資産 | 445,992 | 448,578 |
| 投資その他の資産合計 | 1,165,387 | 1,148,737 |
| 固定資産合計 | 5,395,381 | 5,679,275 |
| 資産合計 | 15,716,469 | 16,328,133 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 短期借入金 | 600,000 | 600,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 539,976 | 539,976 |
| 未払金 | 533,842 | 566,349 |
| 未払費用 | 402,485 | 320,782 |
| 未払法人税等 | 193,650 | 128,961 |
| 未払消費税等 | 38,747 | 76,189 |
| 前受金 | 2,147,272 | 2,247,616 |
| 預り金 | 688,038 | 1,359,166 |
| 賞与引当金 | 171,809 | 87,903 |
| その他 | 162,279 | 129,599 |
| 流動負債合計 | 5,478,102 | 6,056,545 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 2,533,566 | 2,398,572 |
| リース債務 | 430,959 | 457,273 |
| 退職給付に係る負債 | 689,644 | 704,990 |
| その他 | 41,028 | 32,390 |
| 固定負債合計 | 3,695,198 | 3,593,226 |
| 負債合計 | 9,173,300 | 9,649,772 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 214,043 | 214,043 |
| 利益剰余金 | 6,604,985 | 6,365,735 |
| 自己株式 | △657,461 | △657,461 |
| 株主資本合計 | 6,161,567 | 5,922,317 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 42,339 | 32,321 |
| 為替換算調整勘定 | 322,124 | 706,913 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 17,138 | 16,809 |
| その他の包括利益累計額合計 | 381,601 | 756,043 |
| 純資産合計 | 6,543,169 | 6,678,360 |
| 負債純資産合計 | 15,716,469 | 16,328,133 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 2,784,738 | 2,868,964 |
| 売上原価 | 2,072,164 | 2,138,867 |
| 売上総利益 | 712,574 | 730,097 |
| 販売費及び一般管理費 | 566,843 | 756,908 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 145,730 | △26,810 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 129 | 91 |
| 為替差益 | - | 124,595 |
| 投資有価証券評価益 | 8,997 | - |
| 営業外収益合計 | 9,126 | 124,686 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 4,034 | 3,385 |
| 為替差損 | 10,356 | - |
| 投資有価証券評価損 | - | 3,721 |
| その他 | 7 | 921 |
| 営業外費用合計 | 14,398 | 8,027 |
| 経常利益 | 140,458 | 89,848 |
| 特別利益 | | |
| 受取保険金 | - | 50,000 |
| 特別利益合計 | - | 50,000 |
| 特別損失 | | |
| 仲裁関連費用 | 46,152 | - |
| 特別損失合計 | 46,152 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 94,305 | 139,848 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 33,879 | 37,557 |
| 法人税等調整額 | △7,225 | 25,330 |
| 法人税等合計 | 26,654 | 62,887 |
| 四半期純利益 | 67,651 | 76,960 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 67,651 | 76,960 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 67,651 | 76,960 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 15,403 | △10,018 |
| 為替換算調整勘定 | 1,959 | 384,788 |
| 退職給付に係る調整額 | 545 | △328 |
| その他の包括利益合計 | 17,908 | 374,441 |
| 四半期包括利益 | 85,559 | 451,402 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 85,559 | 451,402 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。